

2023_1213「ローソンの初雪（写真）」日々の理科 3415号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

北軽井沢にはスーパーマーケットがありません。以前は夏の間だけ営業しているスーパーがあったのですが、数年前に撤退してしまいました。しかし、コンビニはあります。国道146号線の北軽井沢交差点の近くに、「セブンイレブン」と「ローソン」が隣り合わせにあるのです。

「ローソン」のほうがかぶりで、もともとは「セーブオン」という東京では見かけないコンビニでした。それがローソンになって、お店の人も同じなので、地元の人にはローソンのほうが馴染みがあります。私もローソンに寄ることのほうが多く、今でも間違えて「セーブオン」と言ってしまうことがあります。こんな隣り合わせにコンビニがあるのは東京ではあり得ないですが、不思議なことにどちらも繁盛しています。売っているものが微妙にちがうところが良いのでしょうか。私も買い物の内容によって使い分けています。ローソンでは郵便物や郵便小包、セブンイレブンでクロネコ宅急便を扱っているのも助かります。

どちらも何十台も停められる大きな駐車場があり、2軒合わせて大型スーパーがあるようなものです。どちらも真冬でも24時間営業しているので、雪の夜に真っ暗な国道を走っていると、まるで「光の島」のように見えてほっとします。先日その店先で「初雪」を見ました。車の屋根に落ちたのは「氷あられ」でした。浅間高原も本格的な冬を迎えようとしています。

(2023年12月上旬／ローソン北軽井沢店)

